

Hold on Together♥てをつなごう

カトリック 新庄教会報

Kapit Kamay

カピット カマイ 10

カトリック新庄教会 〒999-4601 最上郡舟形町舟形 445-1

vol.7

Tel.0233-32-0234 Fax.0233-32-0243

http://www.catholic-yamagata.com/shinjo-church/

大船渡教会への巡礼



9月22の朝、待ちに待った大船渡教会への巡礼の日がやって来ました。私は仕事が忙しく、直前まで行くか悩んでいました。でも「大船渡の皆さんにも会いたい」という気持ちが私の背中を強く押ししました。それで私は思いきって行く事に決めたのです。

大船渡に着いたら、塩田神父様、エルバさんとマリセさんが途中まで迎えに出ていてくれました。そのまま3人は被災地域へ案内して頂くのですが、途中で聞く地震と津波の話だけでも鳥肌が立つほどの恐ろしさが伝わってきました。

大船渡教会の何人かの信者さんが住んでいる仮設住宅に立ち寄り、あの「奇跡の一本まつ」をまわり、私達は旅の目的地、大船渡教会へ到着したのです。その時大勢の信者さんが教会の外に出て私達を拍手で迎えてくれました。私はとても嬉しく、心がとても温かくなりました。

タガログ語、英語、日本語での国際ミサが始まり、その中で2年前の大船渡教会と新庄教会との出会いを思い出し、震災に遭われた方々がどれだけ辛い思いをしたか想像した

ら、とめどなく涙が流れて抑える事が出来ませんでした。ミサ後は、お待ちかねのパーベキュー大会。食べ物は全部美味しく、カラオケやビンゴもあってとても楽しかったです。

23日はタガログ語のミサがあり、最後にハルノコ神父様が新庄教会に来る事を約束してくれました。新庄教会で首を長くしてお待ちしています。

ミサが終わり、寂しいけれどお別れのタイムです。塩田神父様、ハルノコ神父様、ギャラリー神父様、PAG-ASA、メンバーの皆様2日間本当にお世話になりました。ありがとうございました。そして本間神父様、郁乃さん、梢さん、新庄教会の皆さんお疲れ様でした。
(By=Ai)

タガログ語ミサ in 新庄教会



新庄教会の皆さんへ、

いつもあたたかく迎え入れて下さり、ありがとうございます。日本にいるフィリピンの人たちと一緒にミサができるのはいつも私の喜びです。皆さんは私が宣教を続けていく上で、大きな励みであり、力です。

神様はあなたたちのことを、いつも無条件に愛して下さっていることを忘れないでください。また近い将来、皆さんに会えるのを楽しんでいます。

To the Shinjo Catholic Community,

Thank you very much for your hospitality and generosity. It is always a joy for me to celebrate mass with the Filipino community in Japan. You are a source of inspiration and strength for me as I continue my priestly ministry.

Always remember that God loves you always and unconditionally. I hope to meet all of you again in the near future.

God Bless, 主にあつて、

ロレンソ・チート神父 (Fr. Chito Lorenzo SVD)

まず、新庄教会でタガログ語のミサがあると聞いたときすごく嬉しかったです。それで、教会に行きたいと言っていた友達にすぐそのことを知らせました。彼らもすごく喜んで、この日を楽しみにしていました。だからこそ、当日、ミサが始まると、みんな、心から神様に祈りを捧げていました。そして、私はギターを弾かせてもらうことになり、みんなで讃美を捧げました。

ミサでは、フィリピンからきたロレンソ神父が説教で、「罪を犯しても神様から離れてはいけません。むしろ、神様は私たちの罪を許すために私たちに近づいてくれるのです」とお話しされました。また、聖体のとき、その説教をきいた1人1人が神様の愛を心から受け取る姿をみて、もっと嬉しくなりました。私もその1人です。さらに、みんなで手をつないで、「アマ・ナーミン」(主の祈り)を歌ったとき、礼拝堂にいた全員が1つになったのを感じました。

ミサが終わると、みんなが楽しみにしていた記念写真と、ささやかなパーティーです。みんなで食べ物を準備してから、ロレンソ神父がみんなの代わりに祈りを捧げました。料理はとてもおいしかったです。特に、僕の大好きな「レチェ・フラン」と「スパグチー」は最高でした。料理を準備してくれた、素敵で親切な、新庄教会のAte(お姉さん)たちに感謝します。

(アーギン・エスピノ)

Una sa lahat labis ako natuwa noong nalaman ko na may misa na tagalog sa Shinjo Church. Kaya noong nalaman ko sinabi ko kaagad sa mga kasama ko na gustong magsimba. At agad naman nilang iki-natuwa ang balita. Kaming lahat ay excited sa misa. Kaya noong nag simula na ang misa, mataimtim kaming nagdadasal. Kumanta kami at nag-guitara ako. At labis kong pinakingan ang mensahe ni Father Lorenzo. Kasi sinabi ni Father, kung ikaw ay magkasala huwag kang lalayo sa Panginoon. Dahil kapagikaw ay nagkasala, lalo kang lalapit sa Diyos, para yung kasalanan ay maituwid mo kasama ang Panginoon may kapal. At lalo kong sumaya noong nakita ko yung mga tao natitanggap ang yukaristia. Kita ko sa mukha nila na buong puso nila itong gustong tangapin. At ako rin, isa sa mga nakatangap ng pagmamahal ng Diyos. Sa panahon ng maghawak kamay, at pagkanta ng Ama Namin, nakita kong nagkakaisa kaming lahat.

At pagkatapos ng misa, may konting impormation, galing kay Father Honma. At yun na ang pinakahihintay ng lahat ang pagkatapos ng misa dahil may pictorial na magaganap at sumunod ang celebration ng pagtitipon sa pagkain at simulang lahat nagdasal muna si Father Lorenzo para sa lahat na natatangap ng pagkain. Ang lahat ng pagkain ay masarap lalo na ang paborito kong Leche-flan at spaghetti na niluto ng mga magaganda at mababait na mga Ate sa Shinjo Church. (Ahrigin Espino)

司教公式訪問ミサ—堅信式—in新庄



8月31日に新庄カトリック教会でバーベキュー(BBQ)を行いました!しかし、あいにくの雨で室内でのパーティーになりましたが、菊地司教様、本間神父様はもちろん、米沢から来てくださった方々、地域の方々などたくさんの方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができ、とても幸せでした。

9月1日には堅信式が行われ、私を含め7名が堅信の秘跡を受けました。受けた方は皆、嬉しい気持ちでいっぱいでした。菊地司教様、本間神父様に心から感謝いたします。誠にありがとうございました。
(By: H.A.I.)

北山原の殉教者たちに学ぶ



信仰年にあたり、北山原での殉教者のミサに、あずかることが出来ましたこと、又、準備されました米沢教会の皆様方に感謝申し上げます。

新庄より、本間神父様の運転にて一路米沢へ。前日の大雨とは違って温かな日差しと青空で迎えてくれました。私達20名程の信者と、おなじみの方達、久しぶりの人達との語りも喜びでした。

司教様のお説教の中で、「米沢北山原の殉教者に学ぶ」とありました。この意味を理解出来るようにと思いました。「自分の為だけではなく、神と人のために人生の日々の生活を生き抜いたのが殉教者。」この言葉がとても印象的でした。忘れがちなことですが、これからの信仰生活に生かせるように、しっかりと見つめて行きたいです。

(高藤悦子)



サマースクール&縄文炎祭

気持ちが暗くなったなら叫ぼうよ イエス様に(ハレルヤ!!)

サマースクールでシスター内田とシスター宮沢から教わった「いっしょに、うたおう!!」の歌の節。二期が始まった今も、小学校一年生の娘と口ずさみながら過ごしています。

8月2日～8月4日、2泊3日のサマースクールに親子で参加させていただき、今、幸せな気持ちでいっぱいです。神様の息吹を感じたカトリック新庄教会での充実した時間。心の平安をここで取り戻せたことを心から感謝しています。

“チーム1”に集まったとわさん、はるきさん、のぶよしさん、のぶかずさん、じゅんさんの五人に、リーダーのしばたつ。“みんなちがって、みんないい”一人ひとり。おたがい褒めあい補いあい助けあって縄文炎祭の会場で組体操を発表できましたね。パーベキュー、花火、スタンドグラス作り、若

あゆ温泉……いろいろな活動を通して友情を深めたと思います。楽しかったサマースクールでの思い出を糧に、目標をもって新しい1日1日を過ごして下さいね。思い出しては、いつも心を込めてお祈りしています。

私自身、新庄教会のスタッフによるおいしい食事、どんなに癒されたことか。特に朝食でいただいた「フィリピンのお粥」の味は格別で、生味わすられない味!本当に有難うございました。

神様と共に過ごしている喜びに満たされた「サマースクールin舟形」、カトリック新庄教会にすっかり魅せられた夏休み。「来年また参加したい!!」と心から願っている保護者スタッフの一人です。シャローム!!

一年生、女子の保護者 畠山 紀子(パウリーナ)

サマースクール三つの祈り

私は8月2日から4日までのサマースクールへ参加させていただきました。前回同様リーダーをさせていただきます。8月2日、新庄教会に子供達と共に山形教会を出発しました。新庄教会に着いて子供達やリーダーが重い荷物を持って2泊3日のサマースクールがはじまりました。私は、スタンドグラス作りと縄文炎祭がとても思い出に残りました。

スタンドグラス作りでは、スタンドグラス作りの先生をむかえて作りました。作る途中にはんだを使いましたが、子供達の方が上手に使えて驚きました。8月3日の夜は縄文炎祭に子供達と参加しました。山形教会の方々も屋台の手伝い

をしてくださり子供達も楽しんでいました。子供達は、チームごとに組体操を披露し、自分達で努力した技を縄文炎祭で発表しました。みんなで作った技を見せて祭を盛り上げました。そして、楽しい三日間が終わりました。

私は、この三日間で学んだものがたくさんありました。私は、キリストへの祈りが三つ増えました。一つは、子供達が来年や再来年と楽しい時もつらい時もキリストが側にいてほしいことです。そして、二つめは、自分が守りたいものを守る勇気を与えてほしいことです。未来でもキリストが私達を見守って下さるよう祈ります。アーメン。

柴田 竜也(聖ディオニジオ)

“サマースクールに参加して”

8月2日から4日にかけての三日間、新庄教会でのサマースクールにリーダーとして初めて参加しました。参加した子供たちは28名。初めての参加という事もあって少し緊張しましたが、新庄教会に到着して子供達とゲームをしたり、チームにわかれてチーム名を考えたりしている内に私の中の緊張も少しずつ解けていきました。

夕の祈りでは、シスターの教えてくださった歌を皆で歌いました。大船渡出身のシスターは子供たちに、被災地の事やご家族の事を優しくお話してくださいました。早朝のラジオ体操は子供たちのように上手にできませんでしたが、新庄教会の朝の清らかな空気の中で体を動かして心もすっきりしたように感じました。その他にスタンドグラスで十字

架を作ったり、プールへ行ったり、縄文炎祭りでかき氷を食べたり、パーベキューをしたり、花火を見たりと本当に楽しい三日間でした。そして、お母さん方の作るご飯が美味しかった!

三日間を通して特に印象に残ったのは、二日目の縄文炎祭りでチーム毎に披露する組体操でした。子供たちと何をするかを決め、空き時間に少しずつ練習して、二日目の縄文炎祭りで演じる事ができました。

毎朝、子供たちと作ったスタンドグラスの十字架にお祈りを捧げてから出勤するようになりました。特別な十字架です。また楽しい夏がきますように。

吉田 梢(マリア・グラチア)



新潟カトリック女性の会 新庄教会へようこそ

本間神父様、新庄教会の皆様 お元気でしょうか。

先月は2日間にわたりお世話様になりました。心のコもったおもてなしをありがとうございました。ファイヤーダンスが始まったころ、山のむこうから月がのぼってきて、とても幻想的でした。忘れられない思い出となりました。

本間神父様の「この信者さんは、神父5人分働きます。」という言葉に感動しました。皆様が新庄に嫁がれたのもすべて神様のお計らいだと感じました。そして、この地で宣教をしている姿を頼もしく、すてきだと思いました。

新潟教会の国際協力部は、前任の金沢部長の時から、「新庄教会支援・インターナショナルフレンドシップバザー」を行っています。今年は日本、フィリピンのお料理と、ニカラグアとペルーからの留学生のお料理を販売しました。新潟教会の信者さんの協力に加え、花籠教会の信者さんからもケーキの提供があり、少しずつ輪が広がってきています。

菊地司教様、本間神父様、新庄の皆様が力を合わせて作り上げた教会を、これからも応援していきます。

(新潟教会国際協力部=三木 明美)



新庄教会の皆さまへ、

教会の前の坂道を上って皆さまの笑顔に出会ったとき、2010年10月の献堂式に参加させていただいたことが、つい昨日のこのように思い出されました。夢がかなったその日から、山形の地で、一つの教会共同体としてしっかりと根をおろして歩いておられるご様子、そして何より感動したのは、夕食会・交流会とその後の聖体賛美式でした。シンプルに、さりげなく、ご聖体のイエス様を中心に歩いておられる皆さまは、どんなときにもイエス様の助けと慰めをいただきながら、これからも歩いていかれることでしょう。

新潟から新庄まではちょっと遠いけれど、いつも応援しています。場所は離れていても、ご一緒に、歩いていきましょう。

(新潟カトリック女性の会=野村 みか)



新庄教会の皆様へ、

先日は、新潟カトリック女性の会のために、色々準備をして迎えてくださいました。楽しい交流会、美味しく頂いた夕食会、皆様の温かい心遣い、心から感謝申し上げます。そして、私たちと朝10時から一緒にミサに与ってくださったこと、本当に有難うございました。皆様の明るさ、笑顔、忘れません。

(新潟カトリック女性の会=宮本 百合子)